



ネヘミヤ記から見る『問題解決の為、理解すべき5つのポイント』

## 「問題解決の為の鍵」 学院長 鍛冶川利文

「私の親類のひとりハナニが、ユダから来た数人の者といっしょにやって来た。そこで私は、捕囚から残ったのがれたユダヤ人とエルサレムのことについて、彼らに尋ねた。すると、彼らは私に答えた。「あの州の捕囚からのがれて生き残った残りの者たちは、非常な困難の中にあり、またそしりを受けています。そのうえ、エルサレムの城壁はくずされ、その門は火で焼き払われたままです。」(1章2節～3節)

# CFNJ NEWS

クライスト・フォーザ・ネイションズ・ジャパン 聖書学院 2009.8・9月号 No.134



CFNJ アルプスコース（牧師・リーダー）実践神学講義

ネヘミヤ記から見る『問題解決の為、理解すべき5つのポイント』

# 「問題解決の為の鍵」

●主を喜ぶことはあなた方の力です。(8章10節) 学院長 鍛冶川利文

■人生に於いて、又、私達を取り巻くすべての状況の中で必ず起こることは「問題」です。出来れば問題は起きて欲しくないものですが、しかし誰であっても問題を避けて生きていくことはできません。もしどうしても避けられないものなら、出来る限りその問題をプラスに考え、人間や組織の成長のチャンスと捉えることができれば問題は問題ではなくなります。イエス様は「患難はある、しかし、勇敢であれ」(ヨハネ 16:33)と仰いました。聖書のネヘミヤ記から、問題に直面した時にリーダーがどのような態度で乗り切るかを見ていきたいと思えます。ネヘミヤの問題に対する対処の仕方は、私達に模範的な問題解決の為の鍵を教えています。

## (前提)

- 問題はどこにでもある。
- 問題なくして人や組織は成長できない。
- 問題は人を打ち砕くか、人を強めるのかのどちらかである。
- 問題はそれ自体が問題ではなく、その問題に人がどのように向き合うかが問題である。

## What? ・正しい状況の把握 ・事実を正確に確認すること

### 1. 何が起きているのか、問題は何か?

■ネヘミヤ記の1章の2節、3節を見ると、ネヘミヤは親類ハナニからエルサレムの惨状と捕囚からのがれ残った民の苦しみについての報告を聞きました。

「私の親類のひとりハナニが、ユダから来た数人の者といっしょにやって来た。そこで私は、捕囚から残ったのがれたユダヤ人とエルサレムのことについて、彼らに尋ねた。すると、彼らは私に答えた。「あの州の捕囚からのがれて生き残った残りの者たちは、非常な困難の中にあり、またそしりを受けています。そのうえ、エルサレムの城壁はくずされ、その門は火で焼き払われたままです。」(1章2節～3節)

先ずリーダーは問題の状況を正しく理解する必要があります。何が、何時、何処で、どの程度起きているのか？正確に把握する事が大切です。もしこの事実確認を見誤るならば、問題解決が全く違う方向に進み、大変な誤解を生む事になります。

問題が発生した時、リーダーに求められる姿勢は、冷静な毅然とした態度です。正確に状況を把握し、問題をどのように捉えるか、又、問題が間違っ人から人に伝わらないように、人々のプライバシーを守ることが求められます。では、どうしたらそのような冷静で毅然とした態度で問題に対処することが出来るのでしょうか？

## 問題に直面した時の聖書的な「3つの心構え」

### 1. どんな問題が起こっても、全ての上に「神の完全な御支配」がある事を認める。

- 「神である主、常にいまし、昔いまし、後に来られる方、万物の支配者がこう言われる。『わたしはアルファであり、オメガである』」 黙示録 1章 8節
- 「神は国々を統べ治めておられる。神はその聖なる王座に着いておられる。」 詩篇 47 篇 8節

### 2. どんな状況になっても、万事を益としてくださる「神からの信仰」をいただく。

- 「神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益としてくださることを、私たちは知っています。」 ローマ 8章 28節

### 3. これからの状況の見通しが見えなくても、最善へと導いてくださる聖霊様の導きを信じる。

- 「しかし、その方、すなわち真理の御霊が来ると、あなたがたをすべての真理に導き入れます。御霊は自分から語るのではなく、聞くままを話し、また、やがて起ころうとしていることをあなたがたに示すからです。」 ヨハネ 16章 13節

## Why? ・問題の原因がどこにあるのか ・問題の所在や特徴は何か

### 2. 何故このような事が起こってしまったのか?

■次に重要な事は、何故このような問題がおこってしまったのか？という原因・責任の所在などを正しく理解することです。この際、原因の究明や追求が個人攻撃にならず、正しい方向へ持って行くことが求められます。ネヘミヤ 1章 4節から 11節にはネヘミヤの神への祈りが書かれています。ここでネヘミヤは、エルサレムの惨状という問題の原因が「神への罪」であると述べています。自分も含めイスラエル全体、又、自分とその父、代々からの「神への不信の罪」の結果であると語っています。ここで、ネヘミヤの問題の原因に対する態度の特徴は、起こってしまった問題を人々回りにぶつけるのではなく、まず神に向けて、自分の事として語られていることです。

## 問題の原因を知るための「4つのステップ」

### 1. 神への祈りと告白。

祈りが問題解決の始まりです。「主よ！何故でしょうか？助けてください！」まず問題を主のもとに持っていくことが指導者の正しい態度として求められます。奥さんにぶついたり、部下の人にぶついたりするのはなく、主の元にいくことです。

### 2. 問題の原因を自分から問いただす。

問題の原因の究明を、まず自分から始めます。自分は何を行ったろうか？自分の責任は何か？ネヘミヤは私と私の家族の罪と言いました。ですからまず自分自身の罪の悔い改めをします。自分をまず裁くなら問題の核心も見誤りません。問題の解決を最も妨げるものは、罪を持ち続けている事です。ネヘミヤは、このような事が起こった理由は、まず、私を神の前にへりくだらせる為であることを理解していました。江戸時代、米沢 15万石の藩主で、危機的な藩の財政を建て直し、名君と讃えられた上杉鷹山という人がいました。この人は、あのジョン・F・ケネディ大統領が日本人の中で最も尊敬していた人だそうです。この上杉鷹山は、人を罰するにあたりこのような姿勢をもっていました。「死刑は勿論、少しでも誰かが処刑される日には、ご飯を控えめにし、絶対に好物を食べようとしなかった。罪人が出たのは自分の不徳の故であり、刑とはいえ人を罰するのは重大なことである。」ネヘミヤの問題に対する態度もイスラエル民族の罪は自分の罪でもあるという確信でした。それがその後の解決に向かう原動力となっていきました。

### 3. 問題の原因を霊的に見る。

問題の原因を探る中で、すぐに人を責めるのではなく、背後にある「罪の力と悪魔の働き」に対抗していく態度をもつ必要があります。このような事が起こった理由は、更に大きな問題を防ぐため、又、神への信仰を強める為であるという積極的な姿

勢で向かう事です。

### 4. 愛の油注ぎを受けること。

神からの愛だけが問題を正しく把握し、原因を正しく理解できる目を与えてくれます。Ⅱコリント 1章 3節～7節でパウロは問題が人への慰めを増す為であると語っています。問題には必ず理性的な理由があり、目的があります。

## How? ・決定を分析する ・解決に向かう

### 3. どんな解決策があるのか?

■正確な状況判断と原因を確かめたなら、いよいよ解決へと向かっていきます。この時に大切なのは何の為に何を解決すべきかという明確な理解です。解決までの優先順位や解決を図るためのシステム作り、又、明確な目標や結果を定めます。どうしたいのか？人と人との和解が必要か？謝罪と弁償が必要か？とにかく最終的な解決の状態を設定する必要があります。ネヘミヤの場合、エルサレムの神殿の再建が目標でした。その為にネヘミヤがとった行動は先ず自分の権威者であるアルタシャスタ王に助けを求めた事でした。この行動を起こすまでネヘミヤは実に 4ヶ月を要しました。(「キスレウの月(11月)(1:1)～「ニサンの月(3月)(2:1)」)これは、この問題がいかに重大な事件であって、とても自分だけで解決できることではなく、王の助け、つまり政治的な力が必要であることを理解していた為でした。資金や人手、そして、許可が必要であったからです。そしてそのネヘミヤの申し出を王は快く許可しました。

## ネヘミヤの具体的な行動へ移す為の「4つのステップ」

### 1. 自分の権威者からの意見やアドバイスなどの指導を願うこと。(2:1～8) (箴言 11:14、24:6)

### 2. 自分自身の目で正しく状況を確認する事。(2:11～16)

### 3. 多くの同胞・協力者(部下や役員・信徒)の賛同を得る事。(2:17) (箴言 15:22)

### 4. 実際の行動を起こす事。 「さあ、再建に取りかかろう！」(2:18)

## If? ・将来を分析する ・今後起こりえる問題は何か?

### 4. 将来、これから何が考えられるか?

■実際の行動をはじめると同時に、今後予想される将来に備えてのプランをたてる必要があります。出来れば解決までの計画、短期・中期・長期の計画をたてておけば今後起こりえることに備えることが出来ます。(戦略的なプラン)

次ページにつづく



ネヘミヤの場合は行動を起こした直後から敵の激しい妨害がありました。(2章19節～20節)(4章1節～3節)これらはある程度は予想されたことでしたが、実際にはかなり露骨で激しいものでした。(敵は怒り、嘲り、邪魔し、陰謀を企てた。)(4章7節～8節)しかし、この問題とは別に、外からではない内からの敵にも悩まされます。それは生活問題です。大工事の間に人々の生活は困窮する中、同胞から利子や抵当を取り、不当な利益を上げている者がいました。そのことでネヘミヤは怒り、不当な貸し借りをやめさせました。(5章1節～19節)このように敵は必ず、神の回復の働きを試み邪魔しようとします。問題はそれに対して、対抗して何をなすべきか、その心の準備、備えです。ネヘミヤは、敵の妨害に対して、民を半分に分け、半分は働き半分が敵の攻撃に備えました。そして人々は片手に武器を持ちながら熱心に仕事を続けました。(4章16節～18節)

### 将来に備える為の「3つのポイント」

#### 1. 恐れてはならない事(4章14節)

敵は何とか邪魔をし、恐れを吹き込もうとします。しかし、最大の敵は、自分自身の中にある失敗への恐れです。恐れは前に進もうとする力を弱めてしまいます。自分の中に恐れが支配することは、内に罪が存在していることのしるしです。問題に立ち向かっていこうとする時、先ずこの自分の中の罪を神の前に悔い改めなければなりません。(ヘブル10:17～23)

●私は彼らが恐れているのを見て立ち上がり、おもだった人々や、代表者たち、およびその他の人々に言った。「彼らを恐れてはならない。大いなる恐るべき主を覚え、自分たちの兄弟、息子、娘、妻、また家のために戦いなさい。」(4章14節)

#### 2. 堅い信仰を持ち続ける事。(4章20節)

問題に立ち向かっていく場合、この戦いは自分と敵ではなく、神と共に、神ご自身が敵と戦ってくださるという理解と信仰をいただく。

●どこでも、あなたがたが角笛の鳴るのを聞いたら、私たちのところに集まって来なさい。私たちの神が私たちのために戦ってくださるのだ。」(4章20節)

#### 3. 失望せずに前進し続ける事。(6章8節～9節)

エルサレムの完成間近に敵は最後の抵抗を試みます。(6章2節)それはネヘミヤ自身に手を下そうとするものでした。しかしネヘミヤはその策策を見抜き、内部からの陰謀からも守られます。このように敵は、ゴール間近であるからこそ激しく、かつ巧妙に、何とかして計画を欺こうとします。しかし、なおも主に信頼し、気力を失わず前進し続けるなら、敵は逃げ去ります。

●そこで、私は彼のところに人をやって言わせた。「あなたが言っているようなことはされていない。あなたは自分を自分でかかって考え出したのだ」と。事実、これらのことはみな、「あの者たちが気力を失って工事をやめ、中止するだろう」と考えて、私たちをおどすためであった。ああ、今、私を力づけてください。(6章8節～9節)

# Joy!

・問題はチャンスになった  
・問題の意味と目的を学ぶ

### 5. 問題の解決から何を学ぶのか?

■こうして城壁は52日間かかってついに完成しました!敵はこれを見て恐れを抱き、面目を失い、神の助けの確かさを思い知ります。ネヘミヤの巧みな指導により、エルサレムの再建という大工事はここに完成します。しかし、このことは単に敵からの勝利や城壁の再建工事の完成という事以上の、民族としての深い意味をもつものでした。問題が解決したとき、喜び、主に感謝をささげるとともに、この事が何のため起こったのか?又、この問題の意義と将来に向けてどうあるべきなのかを考える必要があります。これをやり遂げた力はどこから来たのか?この出来事の目的は何であったのか?

### 問題の解決から学ぶ「3つのポイント」

#### 1. 人生に於ける神の目的を知る(7章・8章)

エルサレムの城壁の再建の目的は、主の民が安心して住み、そこで礼拝を守るためでした。7章で神はネヘミヤの心を動かして住民の調査(7章5節)を行い、8章ではエズラの指導のもと律法の書が開かれ特別な礼拝が行われました。(8章1節～8節)ですからこの問題の目的は、実際の城壁を再建することを通して、人々の心の中の城壁を立て直し、その破れ口を繕い、神の民という使命に立ち返らせる為でした。私達の人生に於ける多くの問題も、その目的は本当に大切なものとは何かを気づかせ、それをもう一度取り戻す為です。

#### 2. 人生に於ける神の憐れみ深さを知る(9章31節)

9章全体はエズラの祈りです。その祈りは、何故?我々の先祖の時代に神の祝福を失い、国が滅びるような事態を招いてしまったのか?その先祖達の悲しむべき行為と、その反逆の歴史を延々と語り続けます。しかし、そのことは逆に神がどれほど愛を示され、憐れみ深いお方であるかを証するものでした。人は問題の渦中にある時は理解できなくても、後でどれほど、その中に神の憐れみの御手があったかに気がつくものです。

#### 3. 人生の喜びと祝福を知る(12章)

ついに城壁の再建は成就し、落成の感謝式を迎えました。その日には民は感謝と賛美に満ちあふれ、多くのいけにえも捧げられました。

●こうして、彼らはその日、数多くのいけにえをささげて喜び歌った。神が彼らを大いに喜ばせてくださったからである。女も子どもも喜び歌ったので、エルサレムの喜びの声ははるか遠くまで聞こえた。(12章43節)

問題は私達を苦しめるためではなく、勇気を持って立ち向かうなら必ずそれを乗り越える事が出来る事、そして、それを通して人生の素晴らしさと、喜びをもたらす為にあるのです。

●主を喜ぶことはあなた方の力です!(8章10節)

2009年7月3日、CFNJ 聖書学院 卒業・修了式

## 卒業生・修了生のご挨拶



●2009年度の1学期の学びを終えて、2名の学生が旅立ちました。本当にこれまでの皆様のお祈りとご支援をありがとうございました。新たな歩みの卒・修了生の為に、これからもお祈りをよろしくお願い致します。



2年コース卒業生  
高木 頼幸

●Praise the Lord! 本当に主は素晴らしいお方です!この二年間、色々なことがありましたが一言で言うなら『癒やしと解放』でした。たくさんの事から癒やされ、解放されました。健康面も守られ、全てにおいてたくさんの恵みを受けた二年間でした。本当に神様は良い方である、常にパーフェクトな方であるということを経験する事ができました。ずっと祈ってくださった兄弟姉妹の皆様方に心から感謝いたします。ありがとうございました。



1学期修了生(ネパール出身)  
トルシイ・ラル・ジョシイ

●主イエス・キリストの御名をほめたえます!あつというまに1学期が終わりました。入学のために推薦して下さった牧師先生方に感謝します。ここで出会った先生方と兄弟姉妹たちにも感謝します。皆さんからたくさんの励ましをいただきました。これからもクリスチャンとして前進していきたいと思えます。



## CFNJ聖書学院 創立25周年記念会開催!



レオ・ケイラー夫妻

■プロテスタント宣教150周年を迎える今年、CFNJ聖書学院は創立25周年を迎えることができました。これまでの数多くのみなさまの愛と励ましに心から感謝を申し上げます。学院ではこの25周年を記念して、創立者のチャールズ&ダイアン・グリコ夫妻列席のもと、特別ゲストとして日本においてこれまで50年以上に亘って宣教を続けて来られた有明バイブルチャーチのレオ・ケイラー師をお迎えし、「創立25周年記念会」を執り行うこととなりました。どうぞおぼえてお祈りくださるとともに、ご参加くださいますようご案内いたします。

- と き：2009年9月6日(聖日)午後3時より5時まで
- 場 所：CFNJ聖書学院 ●特別ゲスト：レオ・ケイラー師

## 「伝道的リサイタル」 in CFNJ

■皆様の祈りに支えられ、7月1日に学院ホールにてリサイタルを行なうことが出来ました。このリサイタルには石狩地域の方など約50名程が参加して下さり、タンバリンやドラマを通して多くの方々に福音を証することができました。来てくださった方々からは「感動した。楽しかった。また来たい」など多くの励ましの言葉をいただきました。また、集会后も手づくりのデザートなどを楽しみながら良き交わりの時を持つことが出来ました。祈り、執り成して下さった方々に心から感謝申し上げます。



●真剣にタンバリンやドラマに見入る、参加者の表情





## 残りの者…ガザにいるパレスチナ人を信じる！(1)

●何年もの激しい迫害の後、ガザの居住者 150 万人のうちわずか 2,000 人程のパレスチナ人信者がそこで生活を続けています。この勇敢な聖徒たちのために、特にミッションスクールと聖書協会書店を運営しているガザバプテスト教会のメンバーのために執り成しましょう。先日、その書店で働いていたラミ・アヤッドさんは、自分の同胞に誘拐され、殺されました。妻のポーリーンさんは彼との間にできた 3 番目の子どもを生んだばかりで、夫が愛していたミニストリーと仕事を続けることを選び取っています。

## イラクでの迫害(2)

●6月、過激派イスラム教徒による脅威と攻撃のため、イラク北部の町モスルに住むクリスチャンの約半数がやむなく強制避難に追い込まれました。ある報告によると、250のクリスチャン家族が、ボランティアのクリスチャン民兵によって12箇所の出入り口で24時間体制で警備されているバーテラ村に避難しているとあります。主を賛美しましょう。そして、このボランティアの人々を守ってくださるように、そしてイラク人クリスチャンが、イスラム過激派によるこの組織的な運動によってイラクから追放されることのないように祈りましょう。

## 「クーデター」ではない—ホンジュラスに関する真実(3)

●ホンジュラスの有名な独裁者であり、最近大統領職を追われたマヌエル・セラヤ氏に対して、国会と最高裁判所は、法定の任期を過ぎても大統領に就任し続けることを拒否しました。セラヤ氏はこれを無視することによって憲法違反を企てました。セラヤ氏が、「私はまだ政権を握っている」と言った時、軍は彼を大統領職から追うことが許されました。これは「クーデター」であるとニュースメディアによって報道されましたが、これは不正な報道です。セラヤ氏は静かにその職を退けられたのです。誰も殺されていないし、危険にさらされてはいませんでした。また、軍は速やかに彼らの立法上の義務を再開した国会指導者にホンジュラスに対する権限を返上しました。

ホンジュラスと暫定大統領のロベルト・ミチェレッティ氏のために祈りましょう。ホンジュラスの約95%の人々は、国民に仕えるよりも独裁制を導入しようとするセラヤ氏に反対しています。セラヤ氏を支持するのはほんの少数ですが、彼には周辺諸国のチャベス氏(ベネズエラ)やオルテガ氏(ニカラグア)、カストロ氏(キューバ)のサポートがあり、彼らは、南半球で民主的統治を破壊するために手を組んでいます。今でも、ウゴ・チャベス氏は、ホンジュラスの暫定大統領を追放し、セラヤを大統領に再任させるために脅迫をけしかけています。(編集者注:ホンジュラスの人々にこのことが起こらないように、御使いを遣してくださるよう主に祈りましょう。)

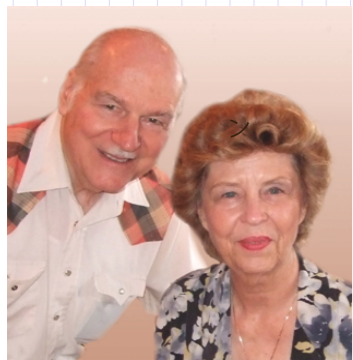
## ブレイズ・レポート！(4)

●かつてないほどに、イランで新しい信者が増えています！この変化は、真偽を問われているマフムード・アフマディネジャド氏の選挙によって引き起こされた政治的混乱によるものであり、信仰と真理に対する忠誠の大転換が起こっていることを明らかにしています。とても多くの人々が救われていることを喜びましょう。そして、何千何万ものイラン人が神の御国へ入るこの状況の中で聖霊様が働かれるよう熱心に祈りましょう。

情報源 (1) Christian World news, CBN.com (2) Christian World news, CBN.com (3) ホンジュラスに14年滞在のアメリカ人宣教師によるレポート (4) CBN.com CWN

世界のための祈り

とりなし手の皆様へ



チャールズ&ダイアン・グリコ

# 2学期の講義日程と ゲスト講師のご案内



2009年9月からの  
入学受付中!  
まだ間に合います!  
詳しくは事務局迄

●ゲスト講師の授業の聴講は無料(席上献金あり)ですが、アルプスコースとCMPコースは有料となります。詳しくは事務局までお問い合わせください。

## 2009年 2学期講義スケジュール 1・2年コース (2009年9月7日(月)~12月4日(金)迄) (敬称略)

	月	火	水	木	金
1 時間目 AM8:45~9:40	エペソ書	旧約聖書 概論 2	使徒行伝 2	世界 教会史 2	雅歌
2 時間目 AM10:00~10:55	藤江 勇士	田中 信矢	田中 博	鍛冶川 利文	松原 望
3 時間目 AM11:05~12:00	約束の地を所有せよ 2 三浦 雅範	聖霊と賛美 安田 諭	信仰的親業と ユースカウンセリング 岡田 留美子	イエス・キリストの生涯 2 ジェリー ジャンセン	

## アルプスコース

1 時間目 AM8:45~9:40	祈り 1	教会 カウンセリング 2	人生に於ける タイムライン	聖書釈義 2	ヨブ記 2
2 時間目 AM10:00~10:55	田中 博	小栗 昭夫	西森 昌二	松原 望	石田 吉男
3 時間目 AM11:05~12:00	CMPコースと合同の授業				

## CMPコース

3 時間目 AM11:05~12:00	聖書の児童伝道 アルマ・ベルメホ	信仰的親業と ユースカウンセリング 岡田 留美子	聖書の児童伝道 アルマ・ベルメホ
------------------------	---------------------	--------------------------------	---------------------

## 選択課目と実習

午後 PM13:00~15:00	ピアノクラス 稲本 妃美子	タンバリンクラス 鍛冶川 紀子	ドラムクラス 田中 満矢	実習 (必修)	ドラマ演劇コース 鍛冶川 紀子
---------------------	------------------	--------------------	-----------------	------------	--------------------



●9月6日(日)は25周年特別ゲスト  
9月7日(月)~11日(金)

## レオ・ケイラー師

1931年生まれ。1951年来日。日本宣教、今年で58年目を迎える。開拓伝道者、有明バプテスト教会の創立者。現在、ABCの協力牧師をしている。日本各地の聖に講師として活躍。子供6人、孫24人、曾孫5人。

●全体授業 / 1・2時間目  
・午前8:45~10:55までの2時間



●9月28日(月)~10月2日(金)

全日本リバイバルミッション代表・  
リバイバル聖書神学校校長

## 有賀喜一師

●講義テーマ「宣教の神学」

●全体授業 / 2・3時間目  
・午前10:00~12:00までの2時間



●10月19日(月)~23日(金)  
クリス・ハリスン師

イギリス出身。本国での牧会を経てアジア各地で宣教活動を行う。オナリ教会の協力牧師の他、現在は韓国の木浦南部教会の協力牧師を務めている。

●講義テーマ「回復のミニストリー」

●全体授業 / 2・3時間目  
・午前10:00~12:00までの2時間



●10月26日(月)~28日(水)

兵庫県高砂市 高砂教会主任牧師

## 手束正昭師

●講義テーマは「教会成長の勘所」

●全体授業 / 1・2時間目  
・午前8:45~10:55までの2時間



●11月9日(月)~13日(金)

## ジャレッド・ブライアント師

17歳の時にユース・ミニストリーへの召しを受ける。その後、米国テキサス州の二つの教会で仕え、CFNIを卒業。現在、アダム・マッケイン師によって創設されたグローバル・ユース・ネットの責任者。妻のセラさんと共に米国内外でユースリーダーを訓練し育てている。学生チームを海外アウトリーチに導き、幾つかのユース・ミニストリーを開拓、援助している。2009年11月来日、1ヶ月間滞在予定。

●講義テーマは「ユースミニストリーについて」

●全体 / 2・3時間目  
・午前10:00~12:00までの2時間



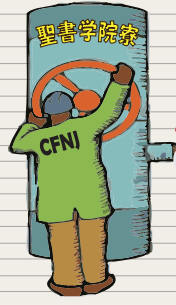
**無料  
プレゼント!**

ゴードンリンゼイ著  
(復刻改訂版)



# 「聖霊のバプテスマを受けるには」

●CFNJではこの小冊子をご希望の方に無料でプレゼントいたします。教会単位でお申し込みになる場合は50冊単位で、個人の方は1冊から10冊まで、お申し込みください。喜んでお送りします。ただし、送料は実費を負担してください。お申し込みは随時受付中です。



**650万円**  
**2,163,346 円の献金**  
(2009年7月現在)

# ボイラー献金の報告とお願い!

●老朽化している学院寮の暖房・給湯ボイラーの交換の為に、かねてより「ボイラー献金」をお願いしてまいりましたが、多くの方々より、現在までに、2,163,346円のご支援を頂きました。心より感謝申し上げます。しかし、更に400万円以上の必要があります。本格的な冬が来る前に、残りの金額が全て満たされるように是非お祈り、ご支援をよろしくお願い致します。



# 学院案内パンフレット完成!

●学院の紹介や、入学に関する情報をわかりやすくまとめた「学院案内パンフレット(フルカラー29ページ)」を制作しました。入学に関してお知りになりたい方、又、知り合いに学ぶことを考えておられる方などおられましたら、遠慮なく何部でもお申し込みください。無料でお送り致します。(お申し込みは事務局まで)

# 出版と発売のお知らせ!

お母さんになるための心構え

# 「奇跡の9か月」



●定価 / 1,500円 (税別)

**マリー・ヘインズ**

■養子縁組を専門とするソーシャルワーカー。牧師夫人も経験している。夫のクリフ・ヘイズ氏との間に4人の子がいる。

●学院の創立者 ダイアン・グリコ師が推薦し、サポートしたマリー・ヘインズ著『奇跡の9ヶ月』が、近日(8月末)FFJ(ファミリーフォーラムジャパン)から出版・発売されることになりました。お母さんのお腹に胎児が宿ったその瞬間から、神の奇跡の御手が動いてその骨々を組み立て人に命が与えられる。この厳粛な事実を正しく理解し、どのようにその命を育み見つめつつ、喜びのときを迎えるのか?

すべてのお父さん、お母さん(クリスチャンであってもなくても)は勿論、将来父母となるであろうすべての人必見の書!ぜひ、お申し込みください。プレゼントにも最適です!

●お申し込みは、FFJ(ファミリーフォーラムジャパン) 電話& Fax 045-933-3875、又は、CFNJ 電話& fax 0133-74-1341・74-1343 まで直接どうぞ!



宗教法人 アジアキリスト福音宣教会・クライスト・フォー・ザ・ネイションズ日本校

# CFNJ聖書学院

〒061-3216石狩市花川北6条5丁目157  
(0133)74-1341・1342 FAX 74-1343

●HP: [www.cfnj.com](http://www.cfnj.com) 郵便振替: 02780-4-4688  
●e-mail: [office@cfnj.com](mailto:office@cfnj.com) 学院長/鍛冶川利文

